

正 誤 表

下記の部分に誤りがありましたので訂正させていただきます。
ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

2022 基本情報技術者 午前試験対策書 第1版 第1刷

No	訂正箇所	誤	正
1	P.14 表 午前試験の出 題範囲	<p>大分類：4 開発技術 / 中分類：12 システム開発技術</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> システム要件定義, システム方式設計, ソフトウェア要件定義, ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計, ソフトウェア構築, ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト, システム結合・システム適格性確認テスト, 導入, 受入れ支援, 保守・廃棄 </div>	<p>大分類：4 開発技術 / 中分類：12 システム開発技術</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> システム要件定義・ソフトウェア要件定義, 設計, 実装・構築, 統合・テスト, 導入・受入れ支援, 保守・廃棄 </div> <p>※2021年10月26日, IPAのシラバス改訂に伴う変更</p>
2	P.47 下から7行目	ア： $(A \cup B) \cap (A \cup C) = A \cup (B \cap C)$ …… 右辺のAとBの位置が違います	ア： $(右辺) B \cap (A \cup C) = (B \cap A) \cup (B \cap C)$ …… 左辺の集合と異なります
3	P.55 下から8行目	初項をa, 交差をdとすると, 一般項(第n項)	初項をa, 公差 をdとすると, 一般項(第n項)
4	P.57 理解度チェック問題(5)	このデータのメジアンは ア , モードは ア です。	このデータのメジアンは ア , モードは イ です。
5	P.57 理解度チェック問題(7)	初項が20, 交差が3の等差数列の一般項(第n項)	初項が20, 公差 が3の等差数列の一般項(第n項)
6	P.57 理解度チェック問題(9)	$A = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 3 \end{bmatrix}, B = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 2 & 5 \end{bmatrix}$ のとき,	$A = \begin{bmatrix} 2 & 1 \\ 0 & 3 \end{bmatrix}, B = \begin{bmatrix} 1 & 0 \\ 4 & 5 \end{bmatrix}$ のとき,

7	P.352 問 7 解説	イ：インターネットからの攻撃や侵入を検知する代表的なものはワクチンソ (文字の途切れ)	イ：インターネットからの攻撃や侵入を検知する代表的なものはワクチンソフト やIDS (Intrusion Detection System；侵入検知装置) です。				
8	P.455 問 3 問題	次の条件でテストするとき、テストデータの最小個数は幾つか。 (H28 秋-FE 問 48)	次の条件でテストするとき、テストデータの最小個数は幾つか。 [条件] ① 有効同値クラスの1クラスにつき、一つの値をテストデータとする。ただし、テストする値は境界値でないものとする。 ② 有効同値クラス、無効同値クラスの全ての境界値をテストデータとする。 ア 5 イ 6 ウ 7 エ 8				
9	P.606 午前の 出題範囲	大分類：4 開発技術 /中分類：12 システム開発技術					
		1	システム要件定義	システム要件定義 (機能、能力、業務・組織及び利用者の要件、設計制約条件、適格性確認要件ほか)、システム要件の評価 など	1	システム要件定義・ソフトウェア要件定義	システム要件定義 (機能、境界、能力、業務・組織及び利用者の要件、設計及び実装の制約条件、適格性確認要件ほか)、システム要件の評価、ソフトウェア要件定義 (機能、境界、能力、インタフェース、業務モデル、データモデルほか)、ソフトウェア要件の評価 など
		2	システム方式設計	システムの最上位の方式確立 (ハードウェア・ソフトウェア・手作業の機能分割、ハードウェア方式設計、ソフトウェア方式設計、システム処理方式設計、データベース方式設計ほか)、システム方式の評価 など	2	設計	システム設計 (ハードウェア・ソフトウェア・サービス・手作業の機能分割、ハードウェア構成決定、ソフトウェア構成決定、システム処理方式決定、データベース方式決定ほか)、システム統合テストの設計、アーキテクチャ及びシステム要素の評価、ソフトウェア設計 (ソフトウェア構造とソフトウェア要素の設計ほか)、インタフェース設計、ソフトウェアユニットのテストの設計、ソフトウェア統合テストの設計、ソフトウェア要素の評価、ソフトウェア品質、レビュー、ソフトウェア設計手法 (プロセス中心設計、データ中心設計、構造化設計、オブジェクト指向設計ほか)、モジュールの設計、部品化と再利用、アーキテクチャパターン、デザインパターン など
		3	ソフトウェア要件定義	ソフトウェア要件の確立 (機能、能力、インタフェースほか)、ソフトウェア要件の評価、ヒアリング、ユースケース、プロトタイプ、DFD、E-R 図、UML など	3	実装・構築	ソフトウェアユニットの作成、コーディング標準、コーディング支援手法、コードレビュー、メトリクス計測、デバッグ、テスト手法、テスト準備 (テスト環境、テストデータほか)、テストの実施、テスト結果の評価 など
		4	ソフトウェア方式設計・ソフトウェア詳細設計	ソフトウェア構造とコンポーネントの設計、インタフェース設計、ソフトウェアユニットのテストの設計、ソフトウェア結合テストの設計、ソフトウェア品質、レビュー、ウォークスルー、ソフトウェア設計の評価、プロセス中心設計、データ中心設計、構造化設計、オブジェクト指向設計、モジュールの設計、部品化と再利用、アーキテクチャパターン、デザインパターン など	4	統合・テスト	統合テスト計画、統合テストの準備 (テスト環境、テストデータほか)、統合テストの実施、検証テストの実施、統合及び検証テスト結果の評価、チューニング、テストの種類 (機能テスト、非機能要件テスト、性能テスト、負荷テスト、セキュリティテスト、回帰テストほか) など
		5	ソフトウェア構築	ソフトウェアユニットの作成、コーディング基準、コーディング支援手法、コードレビュー、メトリクス計測、デバッグ、テスト手法、テスト準備 (テスト環境、テストデータほか)、テストの実施、テスト結果の評価 など	5	導入・受入れ支援	導入計画の作成、導入の実施、受入れレビューと受入れテスト、納入と受入れ、教育訓練、利用者マニュアル、妥当性確認テストの実施、妥当性確認テストの結果の管理 など
		6	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト	テスト計画、テスト準備 (テスト環境、テストデータほか)、テストの実施、テスト結果の評価 など	6	保守・廃棄	保守の形態、保守の手順、廃棄 など
		7	システム結合・システム適格性確認テスト	テスト計画、テスト準備 (テスト環境、テストデータほか)、テストの実施、テスト結果の評価、チューニング、テストの種類 (機能テスト、非機能要件テストほか) など	※2021年10月26日、IPAのシラバス改訂に伴う変更		
		8	導入	システム又はソフトウェアの導入計画の作成、システム又はソフトウェアの導入の実施 など			
		9	受入れ支援	システム又はソフトウェアの受入れレビューと受入れテスト、システム又はソフトウェアの納入と受入れ、利用者マニュアル、教育訓練 など			
10	保守・廃棄	システム又はソフトウェアの保守の形態、システム又はソフトウェアの保守の手順、システム又はソフトウェアの廃棄 など					